

PARNASSIUS

No. 1 3

目 次

淡路島産コガネムシ類	堀田 久	1
淡路島のカミキリムシ追加 (Ⅱ)	堀田 久	4
淡路島産の蜂類について	堀田 久	4
モンシロモドキを上灘堀田で採集	登日邦明	8
チビクワガタの採集例	登日邦明	8
春・秋のクチキコオロギ	山崎俊道	9

淡 路 昆 虫 同 好 会

1 9 7 4

淡路島産コガネムシ類

堀 田 久

淡路島のコガネムシ類については、1959年に発表したことがあるが（兵庫生物V o 1. 3, No 5）その後の採集品を加えて、ここに淡路島産コガネムシ科の目録を作成してみた。これまでの調査は極めて不十分なものであるが、今後の調査に少しでも役立てば幸である。

記録に当たり、貴重な標本を恵与いただいた登日邦明氏に厚くお礼申し上げる。

津名町大町産の標本は、登日邦明氏の採集によるものであり、他はすべて筆者自身の採集品である。なお、標本はすべて筆者が保存している。

コガネムシ科 Scarabaeidae

1. ゴホンダイコクコガネ *Copris acutidens* Motschulsky
諭鶴羽山, 1♀, 29. VII. 1974
2. カドマルエンマコガネ *Onthophagus lenzii* Harold
洲本市安乎町, 1ex., 20. V. 1951, 1ex., 24. VII. 1951;
津名町大町, 1ex., 20. VIII. 1966
3. マエカドコエンマコガネ *Caccobius jessoensis* Harold
諭鶴羽山, 1ex., 29. VI. 1974
4. アシナガコガネ *Hoplia communis* Waterhouse
津名町大町, 1ex., 27. V. 1967; 洲本市安乎町, 2exs., 23.
V. 1971, 1ex., 20. V. 1973
5. マルガタビロウドコガネ *Maladera secreta* Brenske
津名町大町, 1ex., 19. VI. 1966
6. カバイロビロウドコガネ *Serica similis* Lewis
津名町大町, 1ex., 20. V. 1966
7. ホソスジチャイロコガネ *Sericania fuscolineata lineata* Sawada
洲本市安乎町, 1ex., 13. V. 1974
8. クロコガネ *Lachnosterna kiotonensis* Brenske
津名町大町, 1ex., 9. VI. 1966; 洲本市安乎町, 1ex., 9. VI.
1974

9. クリイロコガネ *Neodontocnema castanea* Waterhouse
洲本市安乎町, 1 ex., 13. V. 1974; 諭鶴羽山, 1 ex., 29. VI. 1974
10. ナガチャコガネ *Heptophylla picea* Motschulsky
諭鶴羽山, 1 ex., 29. VI. 1974
11. オオコフキコガネ *Melolontha frater* Arrow
洲本市安乎町, 1 ex., 22. VI. 1974
12. コフキコガネ *Melolontha japonica* Burmeister
洲本市安乎町, 1 ex., 23. VII. 1947; 津名町大町, 1 ex., 20. VI. 1966
13. カブトムシ *Allomyrina dichotoma* Linne
洲本市安乎町, 1♂1♀, 10. VII. 1974
14. コカブトムシ *Eophileurus chinensis* Faldermann
洲本市安乎町, 1♂, 14. X. 1973, 1♂, 28. X. 1973
15. マメコガネ *Popillia japonica* Newmann
津名町大町, 1 ex., 19. VI. 1966
16. コイチャコガネ *Adoretus tenuimaculatus* Waterhouse
津名町大町, 1 ex., 20. VI. 1966; 洲本市安乎町, 1 ex., 18. V. 1974
17. コガネムシ *Mimela Splendens* Gyllenhal
津名町大町, 1 ex., 12. VI. 1966, 1 ex., 24. VI. 1966;
洲本市桑間, 1 ex., 7. VI. 1974
18. ヒメスジコガネ *Mimela flavilabris* Waterhouse
洲本市安乎町, 1 ex., 26. VIII. 1951
19. スジコガネ *Anomala testaceipes* Motschulsky
洲本市安乎町, 1 ex., 17. VII. 1947, 1 ex., 22. VI. 1974
20. オオスジコガネ *Anomala costata* Hope
洲本市安乎町, 1 ex., 17. VII. 1947
21. アオドウガネ *Anomala albopilosa* Hope
洲本市安乎町, 1 ex., 10. X. 1951, 1 ex., 18. VIII. 1974

22. ドウガネブイブイ *Anomala cuprea* Hope
洲本市安乎町, 1 ex., 17. VII. 1947
23. ヒメコガネ *Anomala rufocuprea* Motschulsky
津名町大町, 1 ex., 12. V. 1966, 1 ex., 3. VII. 1966; 洲
本市安乎町, 1 ex., 18. VIII. 1974
24. サクラコガネ *Anomala daimiana* Harold
洲本市安乎町, 1 ex., 26. VIII. 1951; 津名町大町, 1 ex., 3. VII.
1966
25. セマダラコガネ *Blitopertha orientalis* Waterhouse
洲本市安乎町, 1 ex., 26. V. 1947; 先山, 2 exs., 8. VIII.
1951; 諭鶴羽山, 1 ex., 29. VII. 1974
26. ウスチャコガネ *Phyllopertha diversa* Waterhouse
津名町大町, 2 exs., 20. V. 1966; 大日ダム, 1 ex., 5. V.
1973
27. ヒラタハナムグリ *Nipponovalgas angusticollis* Waterhouse
洲本市安乎町, 1 ex., 18. V. 1974, 1 ex., 30. V. 1974
28. カナブン *Rhomborrhina japonica* Hope
三熊山, 1 ex., 25. VII. 1952
29. アオカナブン *Rhomborrhina unicolor* Motschulsky
洲本市安乎町, 1 ex., 29. VII. 1951
30. アオハナムグリ *Cetonia roelofsi* Harold
諭鶴羽山, 1 ex., 29. VI. 1974
31. コアオハナムグリ *Oxycetonia jucunda* Faldermann
先山, 1 ex., 1. IX. 1947; 津名町大町, 1 ex., 20. V. 1966
; 大日ダム, 1 ex., 17. V. 1974

(29. X, 1974)

淡路島のカミキリムシ追加 (II)

堀 田 久

1. クロハナカミキリ *Leptura aethiops* Poda
洲本市安乎町, 3 exs., 18. V. 1974
ガマズミの花に飛来していたものを採集した。
2. ホタルカミキリ *Dere thoracica* White
先山, 1 ex., 9. VI. 1974
飛んでいるのを採集したが、登日邦明氏は、先山の西茶屋横のたき木上で多数の個体を採集されている。
3. ビロウドカミキリ *Acalolepta fraudatorix* (Bates)
諭鶴羽山, 1 ex., 29. VI. 1974
山頂の神社の境内で夜間採集中、灯火に飛来したものである。
4. ニセシラホシカミキリ *Rareutetrapha simulans* (Bates)
登日邦明氏が1974年8月8日、先山で2頭採集された。
なお、淡路島のカミキリムシは、これで55種を数えることになった。

淡路島産の蜂類について

堀 田 久

筆者は、淡路島内において主として蝶類と甲虫類の調査を行ってきたが、その傍ら蜂類もいくらか採集しているので、種名の判明したものを報告しておきたい。

なお、番号の前に*マークを付したものは今回淡路島から新に記録されるものである。本文中に記録した標本は、すべて筆者自身が採集し、現在手許に保管している。

ヒメバチ科 Ichneumonidae

- * 1. オオホシオナガバチ *Megarhyssa pracellens* Tosquinet
先山, 1♀, 30. VII. 1948, 1♂, 10. VIII. 1950

- * 2. コンボウアメバチ *Habronyx insidiator* Smith

諭鶴羽山, 1♀, 29. VI. 1974

コマユバチ科 Braconidae

3. ヨコハマコマユバチ *Tropobracon jokohamensis* Cameron

先山, 1♂, 12. VIII. 1952

ツチバチ科 Scoliidae

4. キオビツチバチ *Scolia oculata* Matsumura

常隆寺山, 1 ex., 11. VIII. 1952

5. オオモンツチバチ *Scolia japonica* Smith

先山, 2 exs., 12. VIII. 1952

- * 6. アカスジツチバチ *Scolia fascinata* Smith

洲本市安乎町, 1 ex., 14. VIII. 1946

セイボウ科 Chrysididae

7. イラガイツツバセイボウ *Chrysis shanghaiensis* Smith

洲本市安乎町, 1 ex., 15. VIII. 1950

スズメバチ科 Vespidae

8. キアシナガバチ *Polistes jokohamae* Radoszkowski

洲本市安乎町, 1 ex., 26. VII. 1946, 1 ex., 21. VIII. 1946

9. キボシアシナガバチ *Polistes mandarinus* Saussure

洲本市安乎町, 1 ex., 16. VIII. 1946; 先山, 1 ex., 1. IX.
1947

10. ホソアシナガバチ *Parapolybia varia* Fabricius

先山, 1 ex., 12. VIII. 1952

11. キボシトックリバチ *Eumenes fratercula* Dalla Torre

洲本市安乎町, 1 ex., 4. VIII. 1946

12. スズバチ *Eumenes decorata* Smith
洲本市安乎町, 1 ex., 4. VIII. 1946
13. スズメバチ *Vespa mandarinia* Smith
洲本市安乎町, 1 ex., 4. VIII. 1946, 1 ex., 15. VIII. 1946
14. カバフスジドロバチ *Pararrhynchium ornatum* Smith
洲本市安乎町, 1 ex., 4. VIII. 1946
- *15. ミカドドロバチ *Odynerus quadrifasciatus* Fabricius
洲本市安乎町, 1 ex., 22. VIII. 1946
16. オオフトオビドロバチ *Anterhynchium flavomarginatum micado*
Kirsch
洲本市安乎町, 1 ex., 4. VIII. 1946, 1 ex., 7. IX. 1974

ベッコウバチ科 Pompilidae

17. フタモンベッコウ *Parabatozonus hakodadi* Palla Torre
常隆寺山, 1 ex., 11. VIII. 1952
- *18. キオビベッコウ *Batozonellus annulatus* Fabricius
洲本市安乎町, 1 ex., 16. VIII. 1946, 1 ex., 20. VIII. 1946
19. オオモンクロベッコウ *Anoplius samariensis* Pallas
洲本市安乎町, 1 ex., 15. VIII. 1946

ジガバチ科 Sphecidae

20. ジガバチ *Ammophila sabulosa infesta* Smith
先山, 1 ex., 17. VIII. 1946, 1 ex., 1. IX. 1947, 1 ex.,
12. VIII. 1952
- *21. キゴシジガバチ *Sceliphron madraspatanum* Fabricius
洲本市安乎町, 1 ex., 3. VIII. 1946
- *22. クロアナバチ *Sphex argentatus fumosus* Mocsary
洲本市安乎町, 1 ex., 15. VIII. 1946
- *23. キンモウアナバチ *Sphex flammitrachus* Strand
先山, 1 ex., 30. VII. 1948

*24. キングチバチ *Crabro continuus* Fabricius

洲本市安乎町, 1 ex., 16. VIII. 1946

コハナバチ科 Habictidae

*25. アオスジハナバチ *Nomia punctulata* Dalla Torre

先山, 1 ex., 1. X. 1947

ハキリバチ科 Megachilidae

26. ハラアカハキリバチヤドリ *Euaspis basalis* Ritsema

洲本市安乎町, 1 ex., 27. VII. 1946

*27. オオハキリバチ *Megachile sculpturalis* Smith

洲本市安乎町, 1 ex., 15. VIII. 1946

*28. ヤノトガリハナバチ *Coelioxys yanonis* Matsumura

洲本市安乎町, 1 ex., 17. VIII. 1946

ミツバチ科 Apidae

*29. モンキマダラヤドリハナバチ *Nomada maculifrons* Smith

洲本市安乎町, 1 ex., 17. V. 1974

*30. スジボソコシブトハナバチ *Amegilla florea* (Smith)

洲本市安乎町, 1 ex., 18. VIII. 1947

*31. ルリモンハナバチ *Thyreus decorus* (Smith)

洲本市安乎町, 1 ex., 22. VII. 1951; 先山, 1 ex., 3. VIII. 1952

32. クマバチ *Xylocopa appendiculata circumvolans* Smith

洲本市物部, 1 ex., 10. VII. 1974

*33. オオマルハナバチ *Bombus sapporensis* Cockerell

洲本市安乎町, 1 ex., 4. X. 1974

参 考 文 献

- 氏原信治(1968) 淡路島の双翅目・膜翅目、PARNASSIUS(5/6):4-8
石原保他(1973) 本四架橋ルート of 島々の昆虫相、動物:98-101
登日邦明(1973) 淡路島産蜂類覚え書(I)、PARNASSIUS(11):15-17

モンシロモドキを上灘畑田で採集

モンシロモドキ *Nyctemara plagifera* Walker は南方系の蛾として知られているが、淡路島からも藤平明氏によって灘(黒岩?)と阿万から各1頭が記録されている(本誌(11):7)。

筆者は1974年 10月20日の正午近く、洲本市上灘畑田の淡路モンキーセンター内で、草むらから飛び立った本種の1♂を採集したので記録しておきたい。同場所でもう1頭が見られたが得ることができなかった。(登日邦明)

チビクワガタの採集例

淡路島でチビクワガタ *Figulus binodulus* Waterhouseが発見されたのはごく最近で、1972年秋、本州四国連絡橋公団の委託を受けた愛媛大学農学部昆虫学研究室のメンバーが、三熊山から3頭を記録したものである(石原ほか 1973)。

筆者は1974年9月21日、最初の発見地である三熊山の登山口からしばらく登ったところのシイの木の樹皮下からオオゴキブリと共に本種を1頭見出した。その後知ったのであるが、これより数日前に山崎俊道氏もシイの木の上を歩行中の本種を1頭得ておられる。

尚、三熊山で本種を採集した際、柳学園高校生物部員の広地、木戸、奈良の諸君に大変協力していただいた。記してお礼を申し上げる。(登日邦明)

春・夏のクチキコオロギ

山 崎 俊 道

筆者は先に、1973年10月9日より、1974年3月末日までの観察例—秋・冬のクチキコオロギ—を報告したが、本報は、それに引続くものであり、飼育と併せ行った4月以降の観察例を主として報告する。

I. 越 冬

2月を過ぎる頃ともなると、成虫の姿は野外ではほとんど見られなくなり、1個体を探すのに、かなりの労力を強いられるようになる。しかもその傾向はますます強まり、2月中頃から7月初めの約5ヶ月間にあっては、僅か数頭の幼虫を、朽木の樹皮下において観察したにすぎない。

にもかかわらず、8月も後半に入る頃になると、忽然と姿を現わし、至る所でその声を聞く事になる。

その間の越冬状況、特に3月から5月までの潜伏場所などについては、不明な点が多く、更に詳しく調べる必要がある。

冬期における越冬幼虫のうち、体長15mm~18mm前後の中齢幼虫が多く観察されたが、中には2~3令と思われるような、体長5mm~9mm前後の若齢幼虫も、数頭観察された。

飼育下のもものでは、管理の不手際によるものか、3月までに成虫の大半が死に、僅か2頭が6月中頃まで生きのびたに過ぎず、それもちかなり衰弱していて、産卵には、至らなかった。

しかし、幼虫を飼育越冬したものでは、途中で死亡するような事もなく、順当な発育を遂げ産卵に至ることができた。

II. 脱皮・産卵

これまで、産卵は越冬した雌の成虫により行われるといわれていたが、今回、飼育下ではあるが、幼虫で越冬したものについても、産卵することが確認された。

この個体は、昨年10月末に三熊山より中令幼虫を採集、飼育を続けてきたもので、7月18日に雌が、22日には雄と、ほぼ同じ時期に成虫化がみられた。

飼育期間中、4回程の脱皮がみられたが、気のついた時、既に脱皮している事も多く、確かな回数はわからなかった。

野外での脱皮場面は、いまだ目撃していないが、飼育下では常に物かげにかくれて行うようで、脱皮の時は、2・3日姿を見せぬことが多い。

雄は成虫化して、しばらくすると鳴き始め、盛んに求愛行動をとるようになる。

交尾は確認できなかったが、7月30日には、はや産卵しているのがみられた。

成虫化後、12日目である。

産卵は昼間でもみられ、腹部を下方に曲げ、産卵管を土中にさしこみながら行うが、比較的浅く産下されているのが多く、地表に出ている卵もかなりみられた。

雌は、9月中頃に死亡し、産卵期間は約40日であった。

孵化時期にも、約1ヶ月以上の差がみられたことから、雌の死ぬ直前まで、産卵が行われたものと思われる。

雄も10月に入ってまもなく死亡した。

Ⅲ. 孵 化

7月30日から9月中頃までに産下された卵は、9月に入って次々と孵化し、遅いのは10月中頃まで孵化がみられた。

卵は、長径2.5mm、短径0.5mmの長楕円形で、発育するにつれ次第に大型となり、透明度も増す。孵化数日前には、頭部・複眼らしきものが透視される。

やがて卵は縦に割れ、頭部より脱出する。

孵化直後の幼虫は半透明で、体長3mm、触角4.5mmと成虫の面影を伝えている。

卵の殻は食せず、幼虫はそのまま潜伏場所へ入る。

野外での産卵、孵化は、今回一度も観察する機会がなく、これらは全て、飼育下における観察だが、野外でもほぼ似たようなケースをとるものと思われる。

Ⅳ. 脱 糞

飼育という限られた場所でも、潜伏場所に糞が堆積するようなこともなく、水槽飼育のものにおいては、登れる筈のない壁面に糞が付着しているなど、これまで疑問に感じてはいたものの見過していた、脱糞の様子について、記録しておく。

まず、しばらく瞑想するような状態に入り、糞がゆっくり出てくる。やがてりきむ状態に移り、この間少し時間がかかる。

八分目程糞が出てきた時、後脚で尻を蹴りあげ、糞をかなり後方にはじきとばす。

時には、ピシッと壁面に当る音が聞える。

しかし、常にこうするとは限らず、水様の糞をすることもあり、自然に出てしまうこともある。

編 集 後 記

▽1974年も残り少なくなりました。予定より少し遅れましたが本年度の2号目をお届けします。

▽来たる12月22日より本会事務所を下記発行所へ移転します。会費納入、原稿送付、バックナンバーのお問い合わせ等はすべて下記発行所へお願いします。

▽島の自然は日々破壊されています。1日も早く島のFaunaが把握できる状態まで調査を進めよう。
(T O B I)

PARNASSIUS 第 13

発行日 1974年12月15日

編集者 登 日 邦 明

発行所 淡路昆虫同好会

兵庫県津名郡津名町大町畑235

登日邦明 方

印刷所 れいめい社

洲本市本町5丁目1番24号